

2022年12月16日

原料費調整に基づくガス料金の調整について (2023年1月検針分)

当社では、2022年8月から2022年10月の平均原料価格に基づき、2023年1月検針分のガス料金（単位料金）を、2022年12月検針分に比べ1m³あたり5.75円下方に調整させていただくことになりましたので、お知らせいたします。これにより、モデル家庭（1ヶ月あたり27m³ご使用）への影響は、2022年12月検針分と比較して、155円の引き下げとなります。

なお、今回発表した2023年1月検針分のガス料金には、当社独自の「都市ガス料金の負担緩和策（12月16日発表）」にもとづく値引き（▲10円/m³）が反映されています（国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」（2023年2月検針分～10月検針分）とは別に実施するものです）。

○供給約款料金表^{※1}

	使用量区分	基本料金	単位料金		影響額
			2023年1月	2022年12月	
料金表A	0 m ³ から15 m ³ まで	946.00 円	247.88 円/m ³	253.63 円/m ³	-5.75 円/m ³
料金表B	15 m ³ を超え50 m ³ まで	1,454.20 円	214.00 円/m ³	219.75 円/m ³	
料金表C	50 m ³ を超え200 m ³ まで	2,013.00 円	202.82 円/m ³	208.57 円/m ³	
料金表D	200 m ³ を超え800 m ³ まで	7,700.00 円	174.39 円/m ³	180.14 円/m ³	
料金表E	800 m ³ を超える場合	9,900.00 円	171.64 円/m ³	177.39 円/m ³	

(金額は税込み)

※1：各月のご使用量に応じて、A～Eの各料金が適用されます。

○モデル家庭[※]における影響額

1ヶ月の ガスご使用量	2023年1月の単位料金 によるガス料金	2022年12月の単位料金 によるガス料金	影響額
27 m ³	7,232 円	7,387 円	-155 円

(金額は税込み)

※：モデル家庭とは、厨房および給湯にガスをお使いいただいているお客さまで、月間のご使用量を27m³で設定しています。

以上

<参考資料>

1. 平均原料価格について

<平均原料価格の算出式>

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \left(\frac{152,790 \text{ 円/トン}}{\text{LNG 平均価格}} \times 0.9503 \right) + \left(\frac{97,440 \text{ 円/トン}}{\text{プロパン平均価格}} \times 0.0546 \right) \\ &= \underline{150,520 \text{ 円/トン}} \quad (\text{10 円未満の端数を四捨五入}) \end{aligned}$$

■原料価格の動向

	2022年8月～2022年10月 <2023年1月分ガス料金に反映>	2022年7月～2022年9月 <2022年12月分ガス料金に反映>	基準平均原料価格
平均原料価格	150,520 円/トン	141,220 円/トン	66,310 円/トン
LNG平均価格	152,790 円/トン	142,800 円/トン	
プロパン平均価格	97,440 円/トン	101,130 円/トン	

平均原料価格が現行の上限値(106,090 円/トン)を超えたため、2023年3月までの軽減措置により、超えた額の50%を以下の算定式で平均原料価格に反映いたします。

$$\begin{aligned} & (150,520 \text{ 円/トン} - 106,090 \text{ 円/トン}) \div 2 = 22,215 \text{ 円/トン} \\ & 106,090 \text{ 円/トン} + 22,215 \text{ 円/トン} = \underline{128,300 \text{ 円/トン}} (\text{10 円未満の端数切り捨て}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \frac{128,300 \text{ 円}}{\text{料金算定に反映する平均原料価格}} - \frac{66,310 \text{ 円}}{\text{基準平均原料価格}} \\ &= \underline{61,900 \text{ 円}} \quad (\text{100 円未満の端数切捨て}) \end{aligned}$$

2. 単位料金の調整について

<単位料金の算出式>

$$\begin{aligned} \text{単位料金} &= \text{基準単位料金} + \text{単位料金調整額} \\ \text{単位料金調整額} &= 0.084^{(\ast 1)} \times \frac{61,900 \text{ 円}}{100 \text{ 円}} \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= \underline{57.19 \text{ 円}} \quad (\text{小数点第3位以下の端数切り捨て}) \end{aligned}$$

	基準単位料金	単位料金調整額	北ガス負担緩和策 ^(※2)	2023年1月の単位料金(税込)
料金表A	200.69 円/m ³	57.19 円/m ³	-10 円/m ³	247.88 円/m ³
料金表B	166.81 円/m ³			214.00 円/m ³
料金表C	155.63 円/m ³			202.82 円/m ³
料金表D	127.20 円/m ³			174.39 円/m ³
料金表E	124.45 円/m ³			171.64 円/m ³

※1 原料価格変動額 100 円/トンにつき、1 m³あたり 0.084 円調整します。

※2 2023年1月の単位料金は、北ガスの負担緩和策として、10 円/m³引いています。

【原料費調整の概要】

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(1 m³あたりの単価)を調整します。
- 供給約款に定める「基準平均原料価格」と「平均原料価格(適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月間におけるLNGおよびプロパンの輸入価格より算定)」を比較して単位料金を見直します。原料価格変動額 100 円につき、単位料金を 1 m³あたり 0.084 円調整します。

$$\text{ガス料金} = \text{基本料金} + \text{単位料金} \times \text{ガスご使用}$$

↑
原料価格の変動により毎月調整します

以上